

6.15

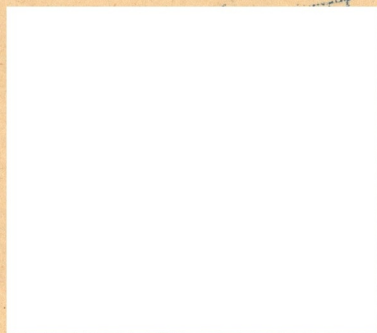
東京国会包囲斗争

情勢の大いなる転換をめざして

大阪一万御道筋示毛に 全学的準備を！



全学区



学部区



6、15を安保斗争の全面的展開の巨
大なるオー波としよう

我々は、二の選挙戦の中で、一貫して「安保」を全学生の問題として提起して来た。そして、その安保破壊のための政策的立場として、徹底して、日本を非武装中立を主張してきた。「打倒」「粉砕」の力言を、我々は、具体的政策をもって克服しよう。

さらに、その安保破壊、非武装中立の実現にむけての第一歩として、6、15の全都全関西自治会共同行動を一貫して主張してきた。我々は、この6、15の全都全関西自治会共同行動を、大阪においては、御堂筋一万入会破として、東京においては、あの国会包囲の大結集として実現させようとしている。なぜなら、「安保」にむけて、政府などいっしょに「デモ権奪回」の闘いを強化している中で、「デモ権奪回」の闘いは重要である。その「デモ権奪回」の闘いを、具体的に「安保」にむけての大衆行動の中で進めていく必要がある。「デモ権奪回」を全関西の学生の手で、6、15御堂筋示毛の圧倒的成功を勝ちとろう。

総評——反戦青年会——市民——学生——の連帯の力を再び強固なものとしよう

二の、6、15の斗いは、今や、総評、反戦青年会を中軸とした地方者階級、市民、学生の強固な反戦デモ隊形成の第一歩とする必要がある。我々は、学生運動を、そのよう反戦デモ隊の力強い一翼として登場させる必要がある。そのために、学生運動の分裂を、我々は、全学生参加の自治会活動形成とその全国化の中で切り拓くなければならない。その具体化は、民青の助言をねのり、今や着々と進行している。

全クラスは、6、15にむけて、クラス討論の復活を現実しよう

学友連帯、E.E.に、クラス討論を復活せよう。クラス討論の全面的なめき、6、15の成功はありえない。具体的行動の立場を、こそ、徹底的に論議していこう。平和の隊列をうちたため、佐藤打倒の大斗争を

革新クルー